

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 11 号

第 11 週 (3月15日 ~ 3月21日)

発行年月日:平成22年(2010年) 3月25日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

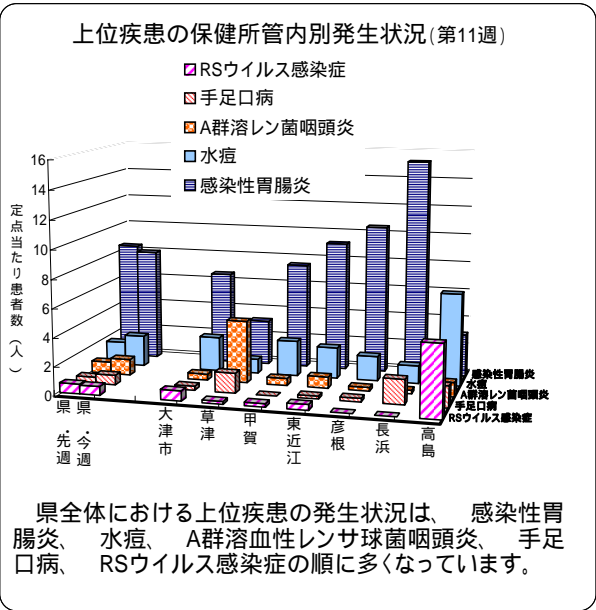
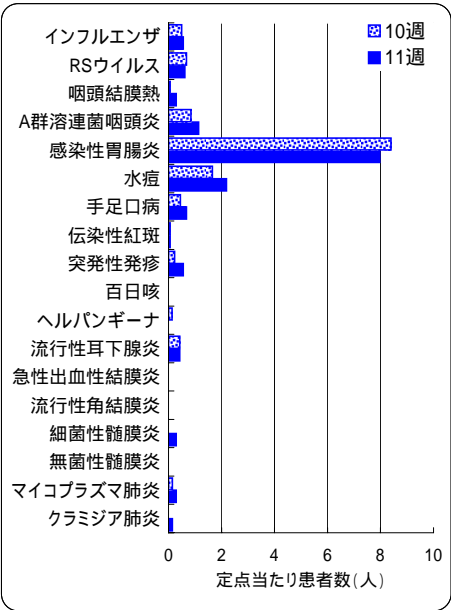
インフルエンザの発生は、彦根で微増！
手足口病の発生は、例年同時期より増加

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 11 週)

- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----**結核 5名**
- ・三類感染症----報告はありません
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----報告はありません

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

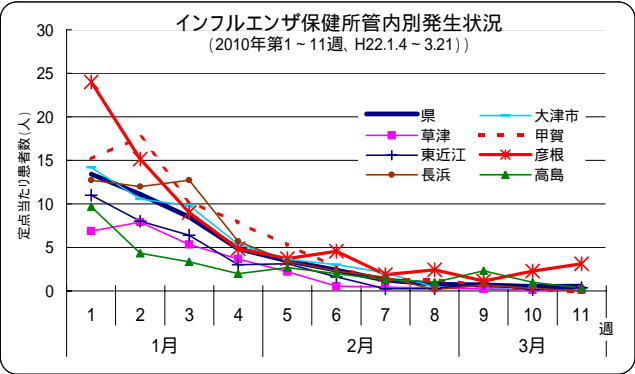
下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(427名)よりやや増加し、今週は465名となっています。今週増加した疾患は、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、手足口病等で、減少した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎およびヘルパンギーナです(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、感染性胃腸炎では、長浜で先週に引き続き、警報終息基準値(定点当たり患者数 12.00)を超えています。また、水痘では、高島で注意報発生基準値(定点当たり患者数 4.00)を超えています。



県全体における上位疾患の発生状況は、感染性胃腸炎、水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、RSウイルス感染症の順に多くなっています。

インフルエンザの発生状況

第1～11週における発生状況は、グラフに示すとおりで、各保健所管内とも減少傾向を示しています。
彦根においては、減少傾向を示しているものの、第10～11週(3/8～3/21)は微増となり、第11週の定点当たり患者数は3.14とやや多くなっています。
また、県全体の年齢群別発生割合では、5歳および7歳でやや多くなっていますが、各年齢群で発生しています。



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といたします。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(注) (11週)	全 国 ^(※2) (10週 ^注)	滋賀	全 国 ^(※2)	滋賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	54	4,090	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	33	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	203	27	3,886	53	4,322
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	14	1	56	0	43
	A型肝炎	2	38	0	115	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	15	0	93	2	104
	マラリア	0	12	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	101	8	712	10	893
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	3	156	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	32	3	220	5	241
	急性脳炎	0	63	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	29	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	31	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	230	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	15	0	73	1	75
	梅毒	2	103	3	692	5	839
	破傷風	0	9	3	113	5	123
	風しん	1	14	2	148	2	309
	麻しん	0	86	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	— ^(※4)	— ^(※4)

注: 11週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

- * 1: 感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。
* 2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。
* 3: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)
* 4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(定点当たり患者数=患者報告数/定点数)。

(1)疾病別・週別発生状況(平成22年第6～11週、2/8～3/21)

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			6週	7週	8週	9週	10週	11週	週				
			2/8～	2/15～	2/22～	3/1～	3/8～	3/15～	7	8	9	10	11
インフルエンザ	52	インフルエンザ	2.38	1.25	0.77	0.71	0.50	0.56					
小児科	31	RSウイルス感染症	1.87	1.35	1.23	1.32	0.68	0.61					
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.19	0.13	0.13	0.26	0.06	0.29					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0.71	0.87	0.71	0.84	1.13					
		感染性胃腸炎	9.16	9.52	10.13	10.19	8.39	7.97					
		水痘	1.55	1.13	1.74	1.42	1.65	2.19					
		手足口病	0.29	0.16	0.23	0.45	0.45	0.68					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.03	0.16	0.06	0.06					
		突発性発しん	0.32	0.29	0.26	0.23	0.23	0.55					
		百日咳	0.06	0	0	0.03	0	0					
		ヘルパンギーナ	0	0	0.03	0.03	0.13	0					
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.48	0.29	0.42	0.35	0.42	0.42					
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
基幹	7	流行性角結膜炎	0	0.38	0.13	0	0	0					
		細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0.29					
		無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0.43	0	0.14	0.29					
基幹	7	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.14					

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病
減少傾向……インフルエンザ、RSウイルス感染症

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第11週、3/15～3/21)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)				
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島					
インフルエンザ	0.56	0.18	0.11	0	0.38	3.14	0	0.33	■				
RSウイルス感染症	0.61	0.71	0.20	0.25	0.40	0	0	5.00	■				
咽頭結膜熱(プール熱)	0.29	0.29	0.40	0	0.80	0	0	0.50	■				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13	0.43	4.40	0.50	0.80	0.25	0.25	1.00	■				
感染性胃腸炎	7.97	6.57	3.20	7.50	9.20	10.50	15.25	3.00	■	■	■	■	■
水痘	2.19	2.43	1.00	2.50	2.20	1.75	1.25	6.50	■	■	■	■	■
手足口病	0.68	0.29	1.40	0	0.20	0.25	1.75	1.50	■	■	■	■	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.20	0	0	0.25	0	0	■				
突発性発しん	0.55	1.29	0.80	0	0.20	0	0.75	0	■				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	■				
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	■				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.42	0.43	0.60	0	1.20	0.25	0	0	■				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■				
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■				
細菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0	■				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■				
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0	■				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	■				

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

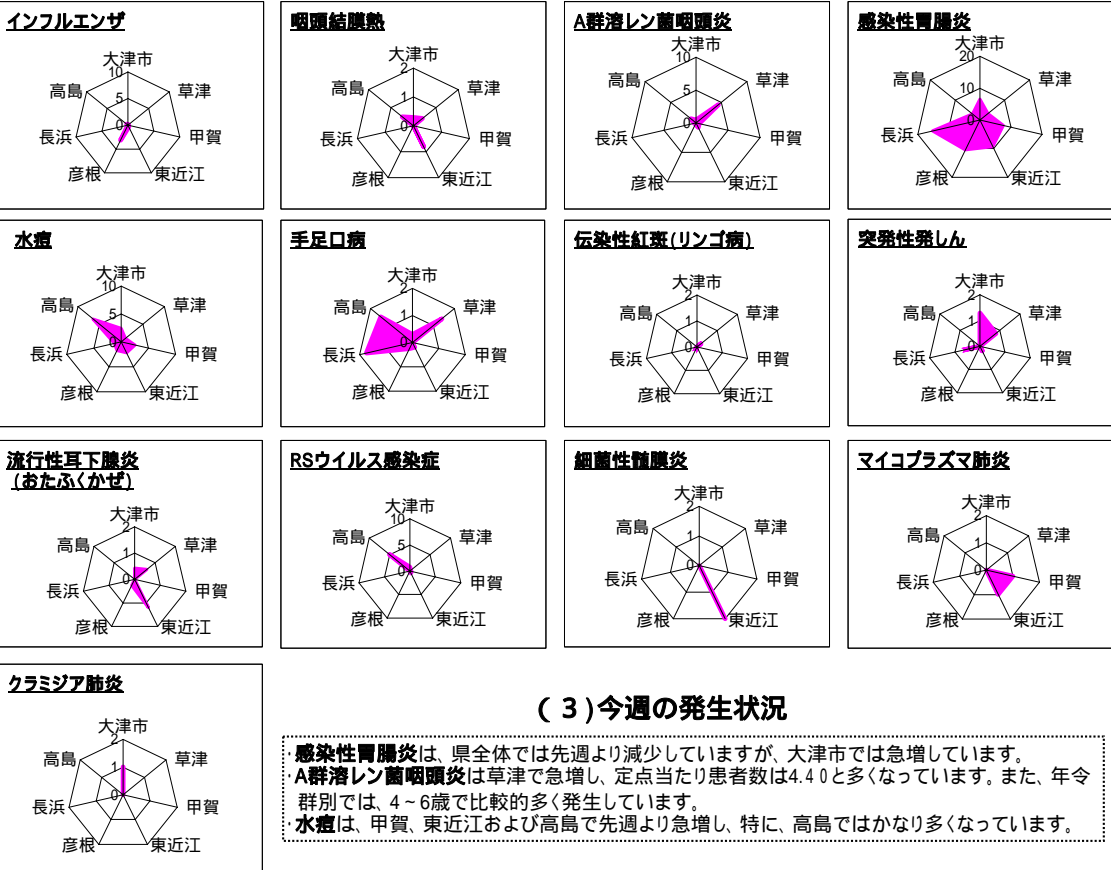
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

0246810

定点当たり患者数

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

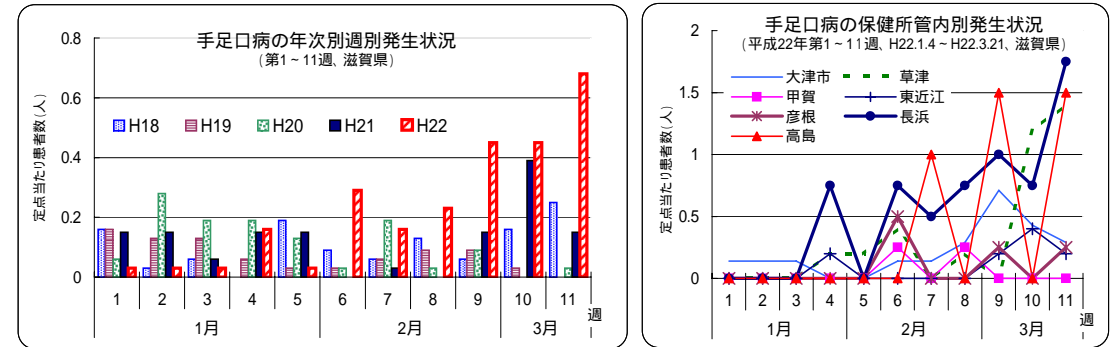


(3)今週の発生状況

感染性胃腸炎は、県全体では先週より減少していますが、大津市では急増しています。
A群溶レン菌咽頭炎は草津で急増し、定点当たり患者数は4.40と多くなっています。また、年齢
群別では、4～6歳で比較的多く発生しています。
水痘は、甲賀、東近江および高島で先週より急増し、特に、高島ではかなり多くなっています。

手足口病の発生状況

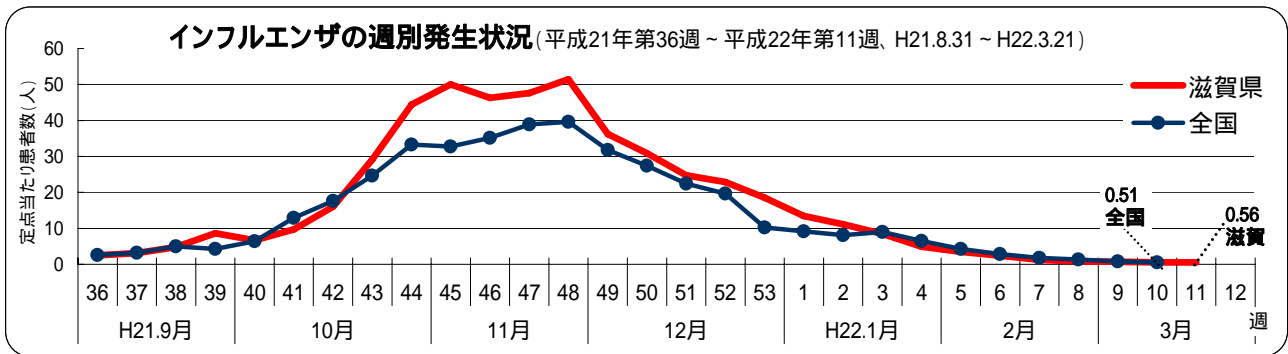
[トップページに戻る](#)



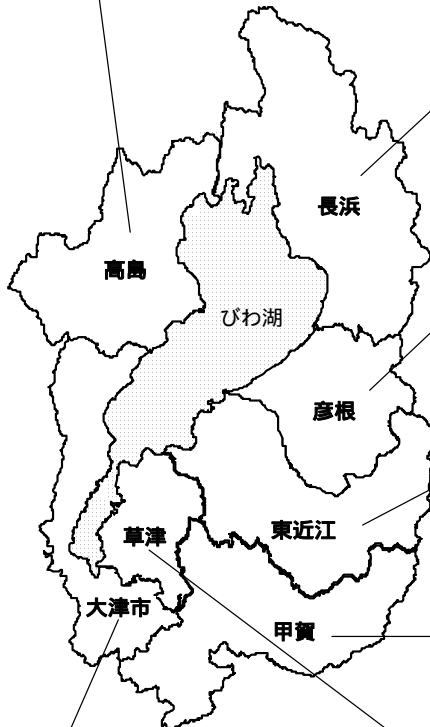
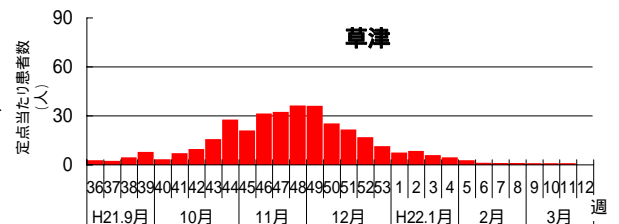
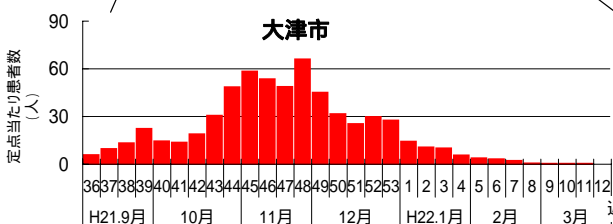
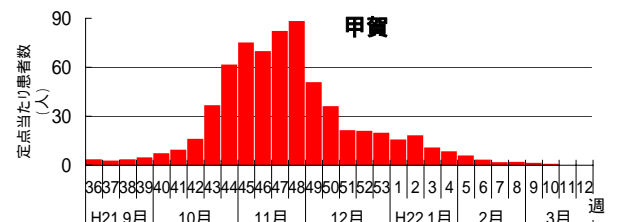
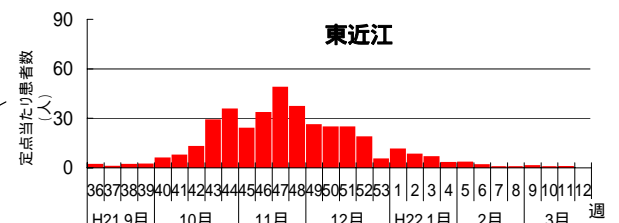
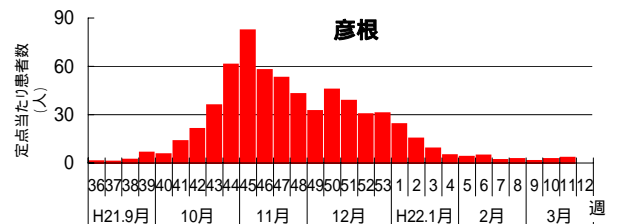
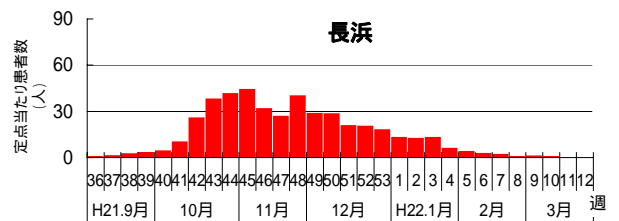
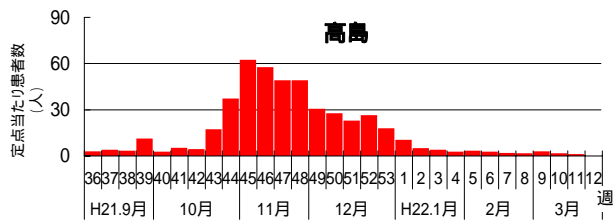
過去5年間(H18～H22)における第1～11週の手足口病の発生状況は、H22年の第6～11週(2/8～3/21)で過去の同時期よりかなり多く発生しています。保健所管内別では、長浜、高島および草津で多くなっています。また、全国では鹿児島県、広島県、岡山県で多くなっています。

滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

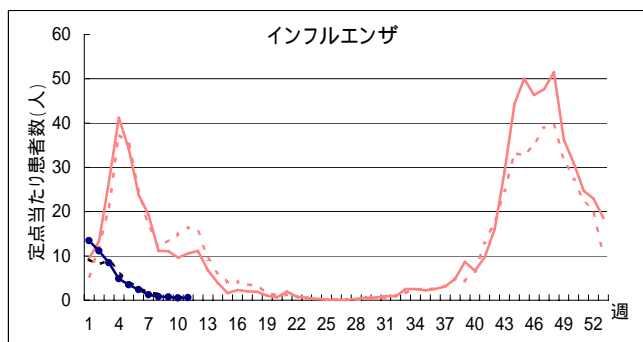
滋賀県・週別発生状況



保健所管内別・週別発生状況

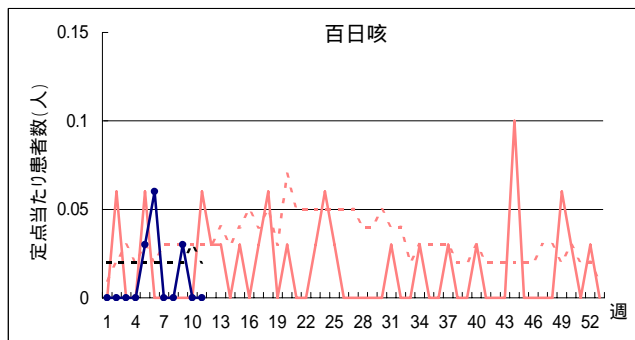
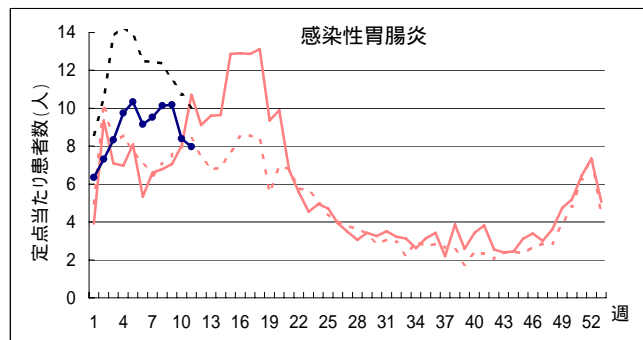
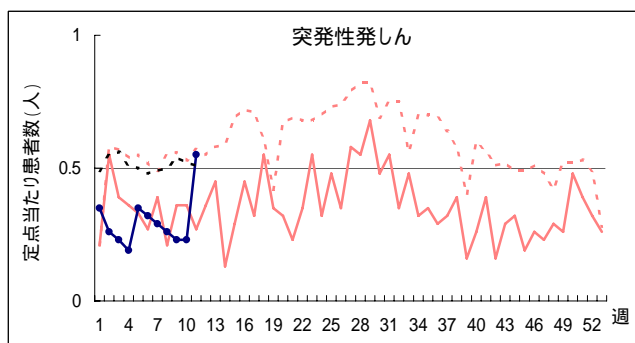
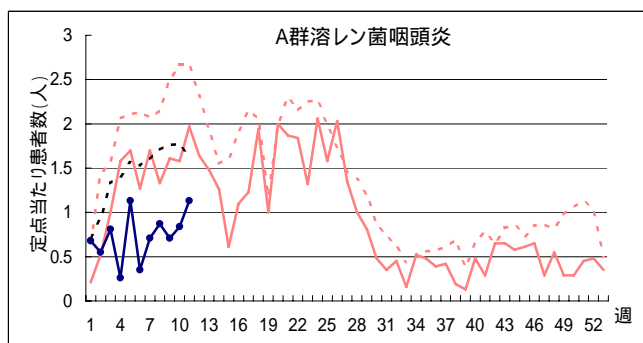
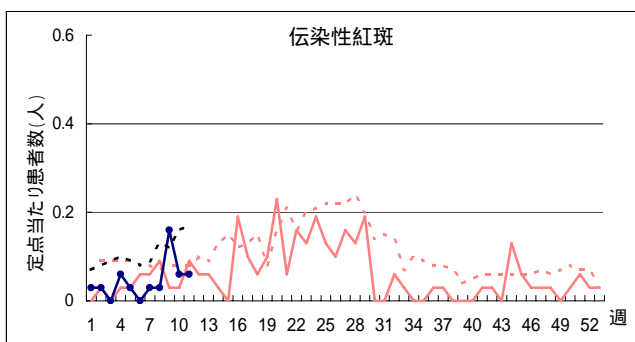
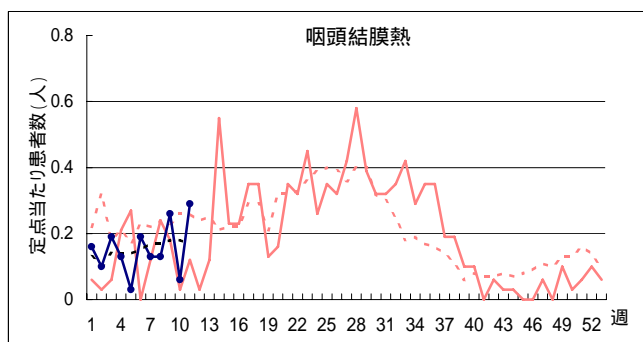
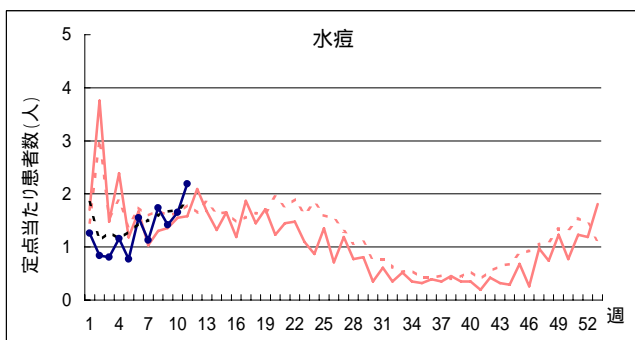
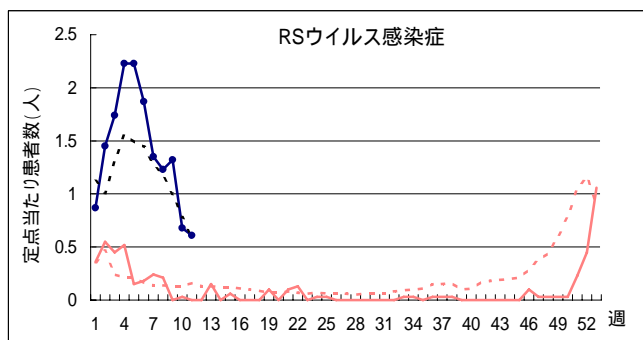


疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 11 週、H22.1.4～H22.3.21)



H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 11 週、H22.1.4～H22.3.21)

